

おおぐち 社協だより

—ふれあいネットワーク—

2013
1月号
No.81



町内小学校での福祉実践教室

1月号もくじ

- 年頭のご挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 社協会員加入の報告・・・・・・・・・・・・・・ 3
- 赤い羽根共同募金実績報告・・・・・・・・・・ 4
- 赤い羽根協賛児童・生徒作品コンクール・・ 5
- ボランティア情報局・・・・・・・・・・・・・・ 6～7
- 大口子育て情報ぎゅっと・・・・・・・・・・・・ 8
- 介護豆知識・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
- 社協トピックス・・・・・・・・・・・・・・ 10～12
- 社協情報伝言板・善意だより・・・・・・・・・・ 13
- 災害ボランティア養成講座・・・・・・・・・・ 14

社会福祉法人 大口町社会福祉協議会

〒480-0126
大口町伝右一丁目35番地
大口町健康文化センター（ほほえみプラザ）2階
TEL (0587)94-0060 FAX(0587) 94-0059
ホームページ <http://www.oguchi-shakyo.or.jp>
Eメール chiikifukushi@oguchi-shakyo.or.jp

人と人とのつながりを形に

支え合う地域づくりを目指して

年頭のご挨拶



社会福祉法人
大口町社会福祉協議会
会長 舟橋 宣成



平成25年の年頭にあたり、謹んでご挨拶を申し上げます。
旧年中の本会对するご厚情に感謝するとともに、実施する諸事業に
関し深いご理解と温かいご協力を賜り心より厚く御礼申し上げます。

さて、未曾有の大災害である東日本大震災は、発生から今年で丸二年
を迎えようとしておりますが、被災地の復興・原発事故処理は道半ばで
あります。また昨年は、大型台風や竜巻等による被害も発生し、今も不
自由な生活を送らざるをえない方々がおられます。それを私たちは決して
忘れることができません。

災害は、人が自然の前で無力である事実を突きつけました。しかし、
人は無力なままではなく、人と人とのつながりに支えられて生きる力を取
り戻し、必死に前を向き歩むことができる存在なのだ、私たちは被災
地の方々に教えられました。

また、日本が度重なる災害と復興の過程を経験することにより、私た
ちは、身近な地域での見守りや支え合い・ボランティアといった地道な
活動が、いかに大切かということを学びました。身近でお互いに支え合
える人どうし、地域でのつながりが、今、改めて見直されています。

全国各地の社会福祉協議会では、さまざまな人を包み込み、支え合う
地域づくり、福祉のネットワークづくりが盛んに行われています。一例
として、地域住民とボランティア、社会福祉協議会が協働し、孤立しや
すい独居高齢者や障がい者、子育て中の母親等の居場所をつくり出して
いく活動（ふれあいサロン活動）は、被災地を中心に全国で注目されて
います。

新たな年を迎え、本会では、町民の皆様のお声に耳を傾け、行政をは
じめ他機関・福祉関係団体と連携しながら、支え合う地域づくりを目指
し、地域住民・ボランティア活動の支援を積極的に取り組んで参る所存
です。

併せて、これまで継続して実施してきた高齢者や障がい者、児童等を
対象とした各種福祉事業、被災地の復興支援等の事業、及びホームヘル
パー・デイサービス・ケアマネジメントの介護関連事業について、さら
なる内容の充実に職員一同努めて参ります。

結びにあたり、町民の皆様におかれまして、本年が幸多き年でありま
すよう心からお祈り申し上げます、年頭のご挨拶とさせていただきます。

平成24年度 大口町社会福祉協議会 会員加入実績

平成24年11月30日現在

会費総額 3, 181, 450円

皆さまからいただきました会費は、在宅福祉サービスやボランティア活動の推進、地域福祉の充実等、大切に活用させていただきます。ご加入誠にありがとうございました。

また会員募集について、地区区長さんをはじめ各法人の皆様には、大変ご協力いただきありがとうございました。

地区名	件数	金額(円)
秋田	428	218,500
豊田	502	257,000
大屋敷	370	186,000
外坪	206	104,500
河北	375	188,000
余野	935	468,000
上小口	367	185,500
中小口	433	221,000
下小口	969	484,500
垣田	208	100,950
さつきヶ丘	260	130,500
合計	5,053	2,544,450

区分	件数	口数	金額(円)	加入率
一般会員	5,018	5,018	2,509,000	66%
賛助会員	108	113	113,000	
法人会員	81	185	555,000	
その他	20		4,450	
合計	5,227		3,181,450	

法人会員紹介 (敬称略)

- (福)愛生福祉会 御桜乃里
- 愛知北農業協同組合大口支店
- アイテック(株)
- (株)青山製作所
- (株)岩間織機製作所
- 岩田工機(株)
- (福)一期一会福祉会
- (株)一宮福祉サポート
- (株)インフォファーム
- (株)いずみ
- (株)伊大建設
- (医)医仁会 さくら総合病院
- (株)イナバ印刷社
- (株)梅田鉄工所
- (株)ACE ショップいとう
- オークマ(株)
- オークマ労働組合
- (株)大美軒
- (有)大森新聞店
- (株)岡谷特殊鋼センター
- 大脇金属(株)
- 兼房(株)
- 川村熱錬工業(株)
- 菊八重会
- (株)木村屋
- (株)協栄製作所
- 倉田精機(株)
- 熊沢建設(株)
- 光栄木材工業(株)
- (株)サカイ
- 佐伯総合建設(株)尾張支店
- (株)酒井建築
- (株)佐藤ガス
- (株)三五郎園
- (株)サンレック
- 鈴与興業(株)
- (有)寿々木工作所
- (株)スター精機
- (有)鈴八
- 鈴与ワークス(株)
- ダイセイ倉庫運輸(株)
- (財)タイム技研社会貢献委員会
- 田中産業(株)
- 中日コプロ(株)
- 中日保安設備(株)
- (株)東海木材相互市場大口市場
- (株)東海理化電気製作所
- 東海理化労働組合
- 東久(株)
- 東伸(株)
- (株)巴製作所
- トヨタ紡織(株)
- (有)ナダ力製作所
- (株)日特製作所
- 日本紙工(株)
- (株)波多野工務店
- (株)尾北福祉センター
- 日吉鑄工(株)
- (社)尾北医師会
- 福玉精穀倉庫(株)
- 福玉ロジステックス(株)
- 福玉米粒麦(株)
- (有)藤原商店
- (株)前田グリーンサービスエンジニア
- (有)まさと電気
- 松岡建設(株)
- (有)松岡自動車
- 丸周建設(株)
- 三佳テック(株)
- 宮田機店(株)
- (有)宮地モーターズ
- (株)村金
- (株)村瀬組
- 名光急送(株)
- (学)名鉄学園名鉄自動車専門学校
- 名北三菱自動車販売(株)
- 明治商工(株)
- ヤマザキマザック(株)
- (株)山正石油
- ユニー(株)アピタ大口店
- やまだクリニック

赤い羽根共同募金 実績報告

平成24年11月30日現在

●戸別募金(地区別)の部

地区名	金額(円)
秋田	225,800
豊田	256,150
大屋敷	177,700
外坪	105,500
河北	204,700
余野	422,400
上小口	184,000
中小口	227,000
下小口	557,000
垣田	75,680
さつきヶ丘	129,200
合計	2,565,130

募金総額 3,120,384円

お寄せいただきました募金は、「じぶんのまちを良くするしくみ」として、町内で実施される福祉事業に役立てられます。



町民体育祭でのボーイスカウトの募金活動

●職域・法人募金の部

区分	金額(円)
法人募金	30,000
職域募金	429,041
団体募金	10,000
合計	469,041

●街頭募金の部

区分	金額(円)
町民体育祭	24,387
町内3店舗	41,582
ふれあいまつり	20,244
合計	86,213



募金活動の陣頭指揮をとられる古田総務部長(左)と岩切労働組合執行委員長(右)

オークマ株式会社様では毎年、総務部と労働組合の方々が中心となり、赤い羽根共同募金に大変力を入れていただいています。
特に、朝の出勤と昼休みの時間帯、従業員の方々に対し、社内で募金を直接呼びかける活動は、町内企業の中でも珍しいものです。
10月30日(火)、社内での募金活動が実施されました。



社会貢献活動に積極的な企業として

オークマ株式会社様



担当従業員の方々と大口町共同募金委員会が並んで呼びかけを実施

オークマ株式会社様は、町内企業のうち、毎年最も多額の募金をお寄せいただいています。今回の募金活動では、合計126,704円の実績額となりました。
大口町の企業が、大口町で社会貢献をする。そんな企業の熱意が、大口町共同募金委員会を通じて町民の皆様へ届けられています。

赤い羽根共同募金の
実績 町内No.1企業

午前7時20分、続々と出勤される役員・従業員の方々に対し、呼びかけを開始。威勢のよい掛け声とともに、次々と募金箱に善意が集まりました。
今年度は新たに、大口町共同募金委員会の職員も参加し、募金活動用のはつぴ、のぼり旗等を使用しました。



安藤総務課長

今年度の募金活動も、社内、盛況下に終わることができました。
募金総額は昨年を上回る成果になり、地域との連携、社内の連携、思いやりを集める活動が、一丸となって実施することができました。はつぴ、のぼり旗等も好評でした。
ご協力いただきました皆様に、厚く御礼申し上げます。

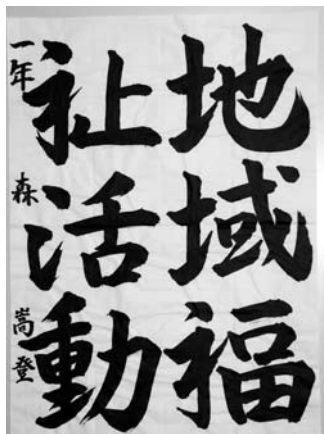


大勢の従業員の方が通られる東門

第64回赤い羽根協賛児童・生徒作品コンクール 入選作品のご紹介

愛知県共同募金会が主催する「第64回赤い羽根協賛児童・生徒作品コンクール」に今年も町内小中学校から多数の応募をいただきました。児童生徒の皆様並びに町内小中学校関係者の方々に厚く御礼申し上げます。

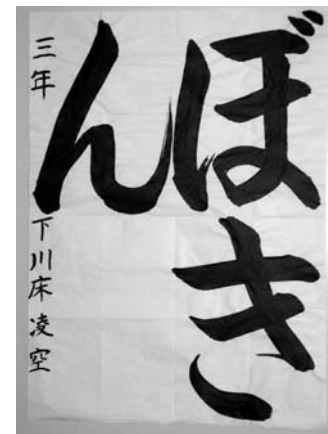
大口町共同募金委員会の選考により、書道420点、ポスター232点の中から、6点を入選作品として愛知県共同募金会へ推薦しました。各学校からの推薦作品は、アピタ大口店と大口町ふれあいまつり会



森 嵩登 (大中1年)



宮地 ことね (南小6年)



下川床 凌空 (北小3年)

書道の部



石川 結美子 (大中3年)



稲波 琴音 (西小5年)



村山 澪 (南小3年)

ポスターの部



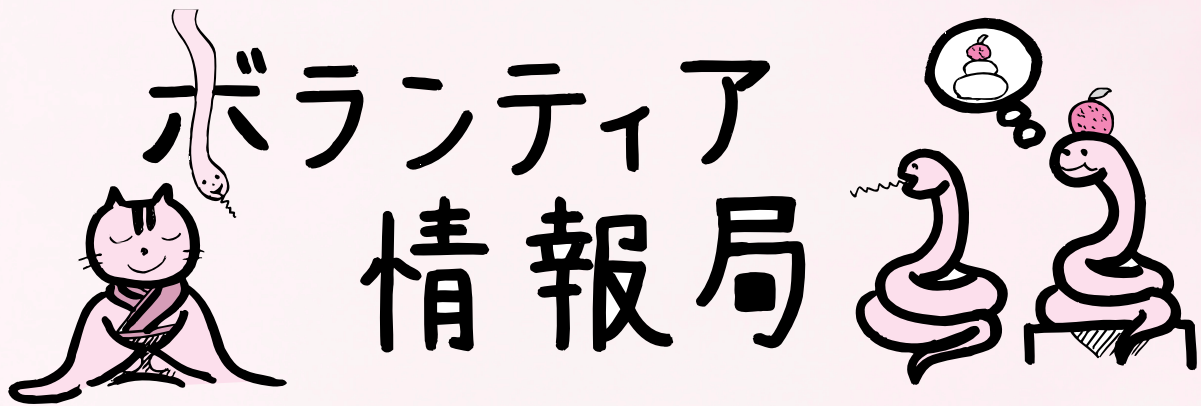
民生委員児童委員協議会の募金活動

赤い羽根共同募金にご協力いただきました皆様

(敬称略・順不同及び略式掲載)

秋田区、豊田区、大屋敷区、外坪区、河北区、余野区、上小口区、中小口区、下小口区、垣田区、さつきヶ丘区、オークマ(株)、ヤマザキマザック(株)、兼房(株)、東久(株)、リンナイ(株)、(株)東海理化電機製作所、名成電機(株)、(学)名鉄自動車専門学校、(株)青山製作所、トヨタ自動車(株)、JA愛知北大口支店、大口町役場、大口町商工会、大口郵便局、大口南郵便局、(社)尾北医師会、尾北看護専門学校、(福)一期一会福祉会(一期一会社)、(福)愛生福祉会 御枝乃里、アピタ大口店、ヨシツヤ大口店、パロージュヨッピングセンター大口店、パロージュホームセンター大口店、憩いの四季、喫茶ほほえみ、ハートフル大口、(社)大口町コミュニケーションワークセンター、大口町民生委員児童委員協議会、ポライスカウト大口第一団、更生保護女性会、町民の皆様

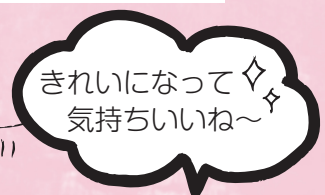
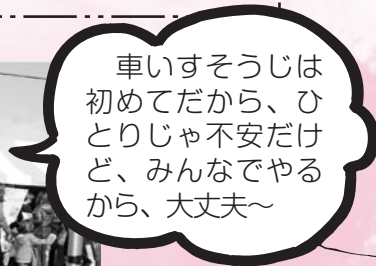
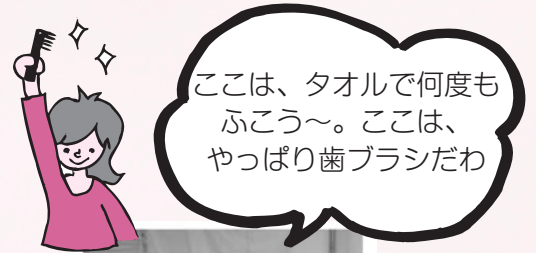
ボランティア 情報局



ふれあいまつり「福祉わくわくランド」初参加★企業ボランティア トヨタ紡織株式会社「車いすそうじ隊」

11月3日（土）、大口町ふれあいまつり2012の会場で、トヨタ紡織株式会社みなさんが、車いすを掃除していました。

社会貢献担当の松島さん（大口製造管理部）は、「これまでも障がいを持つ方とのバーベキュー交流会や森づくり、衣料回収、小中学生にバスケットボールの指導をするなどのいろいろなボランティア活動を行ってきました。今回の車いすのそうじはみんな初めてで手探り状態。でも家の掃除の感覚で、とにかくピカピカになるまできれいにします！」と、歯ブラシやタオルを手に、ゴシゴシ磨いていました。



トヨタ紡織株式会社様は、グループ全体で社会貢献活動を推進する企業です。本社総務部CSR推進室社会貢献推進グループより、「自社工場のある大口町で、ボランティア活動を行いたい」とのお申し出があり、社会福祉協議会を通じて今回のふれあいまつり出展に至りました。

車いすそうじ隊は大好評。一般のお客様の車いす7台、社会福祉協議会貸出用の車いす6台を丁寧に磨き上げました。今年もこの活動を継続する予定とのことです。（大口町社会福祉協議会ボランティアセンター）

今年度初の取り組み！みなさんのところへ行きま～す



ボランティア出前講座

昨年8月22日（木）、南児童センターで、介護ボランティアドリームさんによる「出張ボランティア」がおこなわれました。これまでの「夏のボランティア開放」は、開放をしている場所に参加したい人が集まる形をとっていました。今回は、ボランティアさんが、児童が集まっている児童センターへ出向いていき、車椅子の体験講座をする、という形をとりました。ひとりひとりが車椅子体験をしている間は子どもたちが飽きないように、クイズも用意され、子どもたちも楽しく参加していました。講座終了後、子どもたちの自由な声を聴いてみました。



車いすを押しているとき、ドアにぶつかった。押すのは、難しい。（小2）

車いすに乗っているとき危なかったので、シートベルトがあるといいと思った。（小3）

ガタガタ道でも行けるので、車いすはすごい。（小2）

段差があるところで、前のキャスターを上げるのが難しかった。（小3）



車いすで旅行ができるとは思わなかった。（小3）

車いすに電動があることがわかった。（小1）

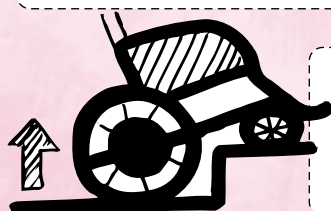
電車に乗る時は「何時何分に乗ります」と駅に電話を入れておくと、駅員さんが対応してくれることがわかった。（小3）

テレビで車いすでスポーツをしている人を見ると、まるで障がいを感じさせないくらいの動きをするのがすごいと思った。（小3）



車いすのたたみ方がわかった。こんなにコンパクトになると思わなかった。（小3）

乗っているとき、手を出してはいけないことを知った。（小2）



坂の時、急に前のキャスターが上がってびっくりした。やっぱり、ボランティアさんが言うように、声をかけてから、キャスターを上げなくてはいけないと思った。（小2）

普通にまっすぐに押すのも難しかった。（小3）

☆参加した小学生に、「来年もあつたら、こういうのに参加したいですか?」と聞くと、全員が「は～い」と、答えてくれました。ボランティア連絡協議会としても、今後、このような出前講座を前向きに考え、より多くの方にいろいろな体験をしてもらえたらなと考えています。今年もよろしくお祈いします。☆

■編集後記■ 取材・作成 / 編集ボランティア oz

一昨年のお正月のこと

今が買い時とお年玉を外貨預金にした息子。夢は膨らみ、1ドル100円になったら円に替えてあれを買おうこれを買おうと皮算用。ところが、それからご存知のように、ますます円高が進み、今や70円台に。元手を増やすどころか、1円も使ってないのに減ってしまったお年玉(T_T)。息子よ、楽しんで儲けようとせず地道に働いてね。





大口子育て情報

ぎゅっと

【編集】特定非営利活動法人「まみーぽけっと」

【HP】

<http://www.geocities.jp/mammypocket/newpage1.htm>

壊れてしまったおもちゃ、どうしていますか？



クリスマスにサンタさんは来ましたか？プレゼントをもらって大喜びの子どもたちがたくさんいたことでしょう。でも、もしも、大切なおもちゃが壊れてしまったら？

でも、ご安心ください。大口町には【おもちゃ病院おおぐち】があります。おもちゃ病院とは、壊れたまま放置されているおもちゃや愛着のあるおもちゃを修理して再び遊べるようにするところです。

修理してもらうのは、原則無料。ただし、部品の交換など実費が必要な場合もあります。

おもちゃ病院おおぐち

2007年から活動をしています。現在のメンバーは7人です。ふれあいまつりなどイベントへの参加もしています。

時間： 第2土曜日 10時～12時

場所： 健康文化センター2階「まかせて広場」

問い合わせ先： 大口町社会福祉協議会
☎ 94-0060

小牧おもちゃ病院トイトイ

時間： 毎週火曜日 10時～15時

第2・4土曜日 10時～12時

場所： 小牧市小牧五丁目407番地

ふれあいセンター・ボランティアルーム

問い合わせ先： ☎ 0568-77-0123

犬山おもちゃ病院 ポニー

時間： 毎週水曜日 10時～14時

第1・3土曜日 10時～12時

場所： 犬山市福祉会館 3階

問い合わせ先： 犬山市社会福祉協議会
☎ 0568-62-2508

おもちゃ病院に併設して「おもちゃ図書館ポニー」があります。たくさんのおもちゃで遊ぶことができ、気に入ったおもちゃを無料で貸出してくれます。ボランティアスタッフの方と子育てについてのお話もできます。



♪ まみーぽけっとより ♪

◎ 私たちの会の設立当初の目標のひとつは「大口におもちゃ病院を」でした。初めは犬山のポニーさんに年2回ほど大口に出張してもらっていました。やがて、おもちゃドクター養成講座などを通じて大口にもドクターが誕生し「おもちゃ病院おおぐち」が開設できました。

次は、おもちゃの貸出しをしたいと考えています。

◎ 町から委託を受けて**大口子育て情報 ぎゅっと**を毎年発行しています。「妊娠・出産・子育て」にかかわる情報が一冊にぎゅっとまとめられています。2012年版が、福祉こども課にありますので、是非ご一読ください。

また、2013年度版発行に向けて、**表紙の募集と広告の募集**をしています。

興味のある方は、**まみーぽけっと**にご連絡ください。

☎ 090-9125-6804 (月～金 10～15時)



最近、玄関が上がりにくい、お風呂の浴槽に入るのが怖いと感じることはありませんか？そんな不安を介護保険の住宅改修(リフォーム)で解決しましょう。では、どんな事が出来るのか、簡単にご紹介します。

1. 手すりの取り付け

廊下、トイレ、浴室、玄関、玄関から道路までの通路等に手すりを設置することができます。

2. 段差の解消

敷居を低くする。廊下全体を敷居の高さにする。浴室の床をかさ上げする。スロープを設置することができます。

3. 床材の変更

畳敷きを板の間にする。通路や浴室等の床材を滑り難い物に変える事ができます。

4. 扉の取替え

開き戸(ドア)を引き戸や折れ戸、アコーディオンカーテン等に変更できます。ドアノブをレバーハンドル、棒ハンドルなどに変更できます。

5. 便器の取替え

和式便器を洋式便器に取り替えることができます。但し水洗トイレに変更していないと認められません。

以上が主な住宅改修の内容です。それではどのような決まりがあるのか、ご説明します。

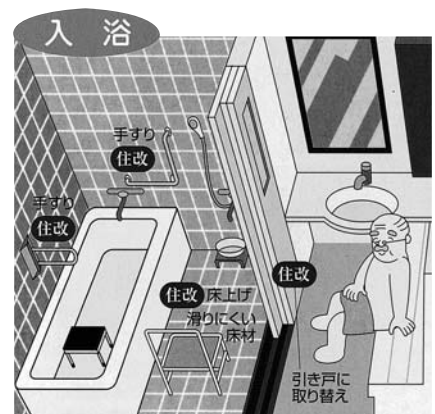
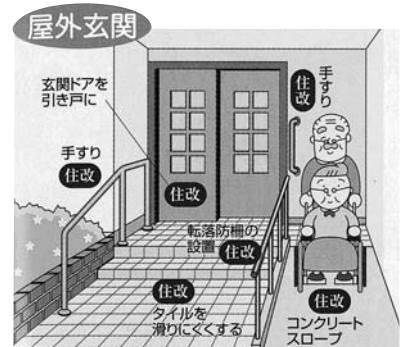
住宅改修の規則

- * 介護保険で要支援、要介護の認定を受けている方が対象です。
- * 工事費用は上限**ひとり20万円**。
- * 20万円の工事で**18万円**支給されます。(一割は自己負担)
- * 20万円になるまで**何回でも**工事できます。
- * 賃貸住宅は所有者が住宅改修を認めれば工事できます。但し、退去する時は元に戻す事が条件、**費用は自己負担**です。
- * 工事費の支払いは全額支払った後で、9割大口町から返金される事が一般的ですが、大口町と契約している工事業者の場合は、自己負担分(工事費の一割)だけ用意すれば残りの9割は大口町が直接工事業者に支払う制度(**受領委任払い**)があります。

※詳しいことは担当のケアマネジャーにご相談くださいね。

住み慣れた家でいつまでも生活するために、**転ばぬ先の住宅改修**でお元気にお過ごしください。

(挿絵:ウエルファンカタログ「ささえ」より引用)



第28回大口町障がい者スポーツ大会

社協トピックス



9月15日(土)、大口町障がい者スポーツ大会(社会福祉協議会主催)が開催されました。心身に障がいをお持ちの皆様の親睦と社会参加を目的とする本大会は、今年度で28回目。

主役は、大口町身体障害者福祉協会と大口町心身障害児者親の会をはじめ、障がいをお持ちの方とご家族。ボランティアや民生委員児童委員協議会等のサポーターの協力により、主役を盛り立てる形で行っています。

会場は、中央公民館集会所。大会当日、森町長をはじめ多数の来賓の方々も参加いただき、総勢302名でにぎやかにスタートしました。

競技種目は、障がいをお持ちの方が無理なく参加できるよう工夫されており、必要に応じて介助者が付き添います。

最も盛り上がるのは、パン食い競争。お目当てのパンが取れたときの参加者の笑顔と歓声、あたたかい拍手が会場にあふれました。

午後からは、丹羽高等学校吹奏楽部の高校生によるパフォーマンス。人気の歌謡曲をダンスとともに披露しました。最後は、全員で太鼓を囲んで輪になり、総踊りを楽しみました。

本大会の成功は、前日の会場準備や当日の競技進行、後片付け等、多くの保護者とボランティア、民生委員児童委員、高校生の方々の活躍に支えられたことをご報告します。

開催に際し、ご協力いただきました皆様に厚く御礼申し上げます。



重度身体障がい者目帰り旅行

10月22日(火)、身体に重い障がいをお持ちの方とご家族を対象に、車いすリフト付きバスで日帰り旅行を実施しました。

今年度の行先は、飛騨高山。バスの道中、紅葉の始まる山々に秋の深まりが感じられる旅となりました。

メインは、秋の味覚いっぱいのでんごろうの昼食会と、『飛騨高山まつりの森』からくり山車の見学。まごころこもる郷土料理と、飛騨の匠による山車とからくり人形の実演に、参加者からは感嘆の声が上がりました。当日はあいにくの雨天でしたが、バスの乗り降りは介助者が連携して対応。事故等なく無事に帰着することができました。

重い障がいをお持ちの方が、家族や仲間と安心して出かけ、旅先での楽しみとおして、生きる喜びを分かち合う機会を。社会福祉協議会は、このような思いを形にする事業を続けていきます。

こんな笑顔に出会えました



きれいだね～



全員で記念撮影



ふくしわくわくランド in ふれあいまつり2012



① 共同募金



「わたがしやりた〜い」という子どもが続出!

11月3日(土・祝)、社会福祉協議会はボランティアサークルの協力で『ふくしわくわくランド』を開催しました。

各ブースでは、体験活動を行うとスタンプ1個、6個ためると景品がもらえるスタンプラリーを実施。ボランティアが企画する楽しい体験活動に、小学生たちが早い時間から列を作りました。また共同募金ブースでは、自分でわたがしを作る企画がヒット。町民とのふれあいを大切に、『ふくしわくわくランド』ならではの体験型ブースは、終日、人が絶えず大盛況となりました。

その他のボランティアブースでは、毎年人気の豚汁が午前中で完売。おもちゃ病院と初出展のトヨタ紡織株式会社いすそうじ隊には、次々と持ち込みがありました。

さまざまな分野で、ボランティアの力を発揮していただいた1日となりました。



② 高齢者疑似体験



③ 要約筆記 ④ HP体験



④ 手話サークル 手話コーラス



トヨタ紡織株式会社いすそうじ隊



おもちゃ病院 おもちゃ修理



給食ボランティア 豚汁



⑥ 災害救援ボランティア 救出



⑤ D・サポート丹羽 災害パネル

大口町ボランティア連絡協議会 活動報告



食育講演会 (左: 犬飼先生、右: 今枝先生)



「食育は、子どもだけのものではなく、大人が学ぶもの」は吉永社長の言葉。まず大人が、安全・安心な食へ物を選ぶ大切さを学びました。その後、衛生管理の徹底された製造工場を見学。栄養士の指導で、同社自慢の皮を使った餃子の調理実習を行い、安心して食べられる商品と手料理のよさを味わいました。

このように、大口町のボランティアサークルは、連絡協議会を通じて連携し、学び合う活動を続けていきます。

大口町ボランティア連絡協議会は、社会福祉協議会ボランティアセンターと合同で、今年度は「食育」をテーマに講演会や研修会を企画しています。

5月は小学校の管理栄養士による講演会、7月は今話題の塩麴の調理実習、9月はキューピ株式会社農学博士による講演会を実施。そして、11月はボランティア研修会として、餃子の皮のメーカーである株式会社瑞逢社(愛西市)へ出かけました。



塩麴の手作り体験

テーマは
食育



社長自ら餃子の包み方を伝授



餃子の皮の製造工程を見学



ボランティア連絡協議会・社会福祉協議会ボランティアセンター

町内小学校 後期 福祉実践教室

10月・11月、各小学校で福祉実践教室（後期分）が開講され、社会福祉協議会が講師依頼や開講準備等の支援を行いました。

実施科目は、盲導犬教室、車いす体験、手話教室、点字教室。いずれも、視覚や聴覚の障がい、身体の障がいをもつ当事者を講師として招き、当事者を支援するボランティアサークル・心身障害児（者）親の会・福祉施設職員がサポートします。

この福祉実践教室は、子どもたちが福祉を知る第一歩。参加した児童は、当事者の思いを体感することで、さまざまな人と互いに認め合い、ともに生きることを学んでいきます。

開講にあたり、ご協力いただきました皆様に厚く御礼申し上げます。



町制50周年記念 大口町・社協主催

大口町表彰式

受賞された皆様

11月23日（金・祝）『大口町表彰式典』が、大口町健康文化センター4階・ほほえみホールで開催されました。

例年、社会福祉協議会では『福祉のつどい』として顕彰事業を実施してきましたが、今年度より『大口町表彰式』として実施することとなりました。

社会福祉協議会からは、福祉に貢献または家庭介護に尽くされた3名を町長感謝として推薦。社会福祉協議会会長表彰・会長感謝として、3名および1社にほう賞を授与しました。

第60回 愛知県社会福祉大会

【県社会福祉協議会会長感謝状】

▼社会福祉施設・団体役員

- 加藤 英也 様
- 今井 茂夫 様
- 緒方 友子 様
- 石田 直美 様
- 服部 光延 様
- 今枝 達夫 様
- ▼市区郡町社会福祉協議会役員
- 前田 守文 様
- 武田 静雄 様

【町長感謝状】

▼寄附

- 大塚 成夫 様
- ▼社会福祉に貢献
- 社本 良子 様
- ▼家庭介護（10年以上）
- 中神 常光 様

【町社会福祉協議会会長表彰状】

▼家庭介護（5年以上）

- 宮川 桂子 様
- 西屋 奈美子 様

【町社会福祉協議会会長感謝状】

▼寄附

- ダイセー倉庫運輸株式会社様
- ▼地域福祉に貢献
- 石黒 文男 様

主催：大口町・大口町社会福祉協議会



ご存じですか？ 社会福祉協議会 生活福祉資金貸付制度

～安定した生活を図るために～

他の資金の借入れが困難な所得の低い世帯や、障がい者・高齢者の方がいらっしゃる世帯にご利用いただく貸付制度です。

問合せ先 社会福祉協議会 電話 94-0060

総合支援資金

失業者等、日常生活全般に困難を抱えており、生活の立て直しのために継続的な相談支援と生活費及び一時的な資金を必要とし、貸付を行うことにより自立が見込まれる世帯への生活資金

生活支援費	生活再建までの間に必要な生活費用
住宅入居費	敷金・礼金等賃貸契約を結ぶために必要な費用
一時生活再建費	生活を再建するために一時的に日常生活費を賄うことが困難である費用

福祉資金

福祉費	生業を営むために必要な経費
	技能習得に必要な経費及びその期間中の生計を維持するために必要な経費
	住宅の増改築、補修等及び公営住宅の譲り受けに必要な経費
	福祉用具等の購入に必要な経費
	障がい者用自動車の購入に必要な経費
	中国残留邦人等にかかる国民年金保険料の追納に必要な経費
	負傷又は疾病の療養に必要な経費及びその療養期間中の生計を維持するために必要な経費
	介護サービス、障がい者サービス等を受けるために必要な経費及びその期間中の生計を維持するために必要な経費
	災害を受けたことにより臨時に必要となる経費
	冠婚葬祭に必要な経費
	住居の移転等、給排水設備等の設置に必要な経費
	就職、技能習得等の支度に必要な経費
	その他日常生活上一時的に必要な経費

緊急小口資金	緊急的かつ一時的に、生計の維持が困難となった場合に必要な経費
--------	--------------------------------

教育支援資金

教育支援金	学校教育法に規定する高校、短大、大学または高等専門学校に就学するために必要な経費
就学支度金	教育支援金の貸付対象となる学校への入学に必要な経費

不動産担保型生活資金

一定の居住用不動産を有し、低所得で65歳以上の高齢者世帯の方への不動産を担保とした生活資金

Information 社協情報伝言板

ひとり親家庭お祝い金贈呈事業

社会福祉協議会では、町内在住のひとり親家庭のお子さんの卒業と新たな門出を祝して、お祝金を贈呈します。

■対象者 大口町児童扶養手当を受給され、今春保育園、幼稚園、小学校、中学校等卒業予定のお子さんがある世帯

■内容 対象となるお子さん一名につき次のお祝金を贈呈します
保育園、幼稚園、小学校3千円、
中学校5千円

■手続き 社会福祉協議会窓口において申請を受付します（代理可）

■期間 平成25年3月1日（金）から
3月22日（金）
（土、日、祝日は除く）

■時間 午前8時30分から午後5時15分
（時間等都合がつかない場合相談可）

■必要なもの
印鑑・母子家庭等医療費受給者証
又は子ども医療費受給者証
ただし代理申請の場合は代理の方が
本人確認できるもの（保険証等）

問合せ先 社会福祉協議会 電話 94-0060

善意だより

社会福祉に役立てて欲しいと、大口町社会福祉協議会にあたたかい寄附・寄贈をいただきました。厚く御礼申し上げますとともにご報告いたします。

順不同（9月12日～11月30日 取扱い分）

【寄附金】

ダンスサークル大口ふれ愛 様	44,500円
大口町歌謡同好会 様	14,414円
丹羽高等学校生徒会 様	41,818円
匿名希望	12,000円
匿名希望	2,000円
豊淑五会	34,867円

【寄贈品】

匿名希望	おむつ用品一式
櫻井 智 様	福祉体験教材用ゴーグル 3個
沢田 弘子 様	肩たたき棒 30本

大口絆つなぐネット

私たちは、東北を忘れない

11月22日(木)、岩手県から『遠野市綾織地区4団体合同研修視察団』が来町しました。

遠野市綾織地区と大口町との縁は、平成23年度に実施した東日本大震災復興支援事業に始まります。被災地でボランティア活動の拠点となる宿泊先の提供等、多様な協力をいただき、ともに復興支援に取り組むことで、絆を深めてきました。

視察団は、遠野市社会福祉協議会綾織支部を中心とした13名。2泊3日の滞在期間中、大口町の町政や社会福祉協議会の事業活動について研修を行いました。

大口町の人たちが、自分たちの食べ物と布団を持って、見ず知らずの土地に来て、初めて会う人のために手伝いをしてくれました。大変だったと思うが、涙が出るほど本当にありがたかった。大口町で何かあったら、今度は必ず自分が駆けつける。これからも、この縁を大切にしていきたい。



研修視察団 及川団長
(遠野市社会福祉協議会
綾織支部長)

もうひとつの家族との再会

研修に際し、社会福祉協議会は、8か月前ボランティア活動のため、綾織地区の民家でホームステイをした子どもたちを招待。及川団長をはじめとするホストファミリーの方々の交流の場を企画しました。

遠く離れた被災地でできた、もうひとつの家族。久しぶりの再会に、絆を噛みしめるように、握手を交わす大人と子どもたち。震災復興の思いを伝える映像が流れると、目頭を押さえる姿がいくつもありました。

研修最後には、次の再会を誓い、綾織の皆様を子どもたちが見送りました。大口絆つなぐネットは、東北を忘れない大口町の人々と、被災地の人々の絆をつなぐ支援を続けます。

さよならは言わないよ、
また会いましょう。



災害ボランティア養成講座 受講者募集



来るべき災害。そのとき、
あなたの力を貸してください。

みんなが被災者となったとき、また自分が被災地でボランティア活動しようとするとき、実際にはどんな行動や備えが必要でしょうか。

今回の講座では、消防隊員を講師として迎え、電気やガス・水道のない避難所生活を想定しながら、災害時のボランティア活動の基礎知識を学習します。

その後、避難所を想定したさつきヶ丘集会所で、一晩を過ごす避難所体験を行います。

講座開催にあたっては、現在活躍中の災害ボランティアがサポートします。

月日	時間	場所
1/25(金)	午前9時から正午	大口町健康文化センター1階 多目的室
2/1 (金)	午前9時から正午	大口町健康文化センター1階 多目的室
2/8 (金)	午後5時から翌朝	さつきヶ丘集会所
2/9 (土)	午前10時(予定)	(1泊2日避難所体験)

【参加費】 500円 (お一人様)

【定員】 20名 (※定員になり次第受付を終了)

【対象者】 町内在住・在勤の方

【申込み】 平成25年1月7日(月)から
窓口・電話・ファックスで受け付けます。

【主催】 大口町社会福祉協議会

【協力】 丹羽消防署、災害救援ボランティア
D・サポート丹羽

問合せ先 大口町社会福祉協議会

電話 94-0060 FAX 94-0059